

2018年（平成30年）11月8日

藤沢市長 鈴木 恒夫 様

藤沢市個人情報保護制度  
運営審議会会長 畠山 関之

防犯意識の普及啓発に係る個人情報を目的外に提供すること及び目的外に提供することに伴う本人通知の省略について（答申）

2018年（平成30年）10月29日付けで諮問（第944号）された防犯意識の普及啓発に係る個人情報を目的外に提供すること及び目的外に提供することに伴う本人通知の省略について、次のとおり答申します。

## 1 審議会の結論

- (1) 藤沢市個人情報の保護に関する条例（平成15年藤沢市条例第7号。以下「条例」という。）第12条第4項の規定による目的外に提供する必要性があると認められる。
- (2) 条例第12条第5項ただし書の規定による目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由があると認められる。

## 2 実施機関の説明要旨

実施機関の説明を総合すると、本事務の実施に当たり個人情報を目的外に提供する必要性及び目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由は、次のとおりである。

### (1) 諮問に至った経過

神奈川県藤沢警察署司法警察員から、刑事訴訟法第197条第2項に基づく捜査のため、捜査関係事項照会書が提出され、辻堂駅南北自由通路北口側に設置している防犯カメラが記録した画像データの情報提供を求められた。

刑事訴訟法第197条第2項の規定は、条例第12条第2項第2号の法令等に定めがあるときに該当せず、実施機関の裁量に委ねられている場合に該当するため、当該照会に対する防犯カメラの画像データの目的外提供について、藤沢市個人情報保護制度運営審議会に諮問するものである。

### (2) 目的外に提供することについて

#### ア 目的外に提供する個人情報

辻堂駅南北自由通路北口側設置の防犯カメラの2018年（平成30年）10月8日午後2時から午後5時までの画像データ

#### イ 目的外の提供先

神奈川県藤沢警察署司法警察員

ウ 目的外提供の根拠規定

刑事訴訟法第197条第2項

エ 目的外提供に対する実施機関の考え

(ア) 照会の法的位置づけ

本件の個人情報の目的外提供に係る照会は、刑事訴訟法第197条第2項の規定に基づくものである。

同条は「捜査については、公務所又は公私の団体に照会して必要な事項の報告を求めることができる。」としており、官庁・公共団体その他のものに対する照会による報告の請求権を認めたものだが、その照会に応じなければならない拘束力はない。

しかし、本件照会は、正当な請求権を有した神奈川県藤沢警察署司法警察員によって行われたものである。

(イ) 目的外に提供する必要性

今回の照会に対する画像提供の具体的な必要性について、捜査機関である藤沢警察署に問い合わせたところ、今回の照会の基になった事案は、辻堂駅北口歩行者用デッキ上で被害者である40代の男性が自転車に乗ろうとしたところ、加害者である70～80代くらいの男性が意味不明な言葉を発しながら近づき、手に持っていた杖で被害者を殴打し、被害者がその後警察へ被害届を提出、殴打された箇所が打撲していたことから傷害罪として警察が捜査を開始したとのことである。警察のこれまでの捜査では、現場でトラブルが起きた時間帯に大きな声で口論しているところを見たという証言を、付近でティッシュ配りをしていた者から得ており、付近の防犯カメラの画像から犯人特定に繋がる手がかりを得たいために、画像提供を求めたとのことであった。

なお、事案発生時の現場、及び判明している被害者と加害者の移動経路の状況から本市の防犯カメラに加害者が映っている可能性が高く、付近の他の防犯カメラには映っていない可能性があることから、市の実施機関として他の手段では代替することが困難なものと判断し、また、当該画像データにおける個人情報の内容と本件の提供の趣旨を勘案した結果、当該画像データを目的外に提供する必要があると判断したものである。

(3) 目的外に提供することに伴う本人通知を省略する必要性について

個人情報を目的外に提供する場合、当該個人情報の帰属する本人にあらかじめその旨を通知する必要がある。しかし、本件の目的外提供は、捜査のために行うものであり、今回照会対象となっている画像データに映っている個人が本事案に関与している可能性があるため、本人通知をした場合には、当該捜査の遂行に支障をきたすことを捜査機関に確認している。また、目的外に提供する個人情報は、画像データであり、撮影区域には不特定多数の者が立ち入るため、当該画像データから個人を特定することができないため、本人に個別に通知することは困難であることから、本件の照会における目的外提供においては、本

人通知を省略する合理的な理由があると判断したものである。

(4) 画像データの提供方法

照会の対象となっている画像データは、カメラ本体内のSDカードに記録されており、画像処理用パソコンにダウンロードし、仮保存した状態であることから、提供にあたっては、依頼元の神奈川県藤沢警察署司法警察員による確認を経て、実施機関が必要と判断した部分のみを選択し提供することとする。

また、提供する際は、条例施行規則第11条に規定する「提供を受けるものが執る措置」を遵守することを求める旨を記載した回答書を交付することとする。

(5) 目的外に提供する時期

2018年(平成30年)11月8日

(6) 添付書類

- ア 捜査機関関係事項照会書(写し)
- イ 辻堂駅北口側の防犯カメラ設置状況と事件発生現場の位置関係図
- ウ 藤沢市街頭防犯カメラ運用基準
- エ 個人情報取扱事務届出書
- オ 回答書(案)

3 審議会の判断理由

当審議会は、次に述べる理由により、審議会の結論(1)及び(2)のとおり判断をするものである。

(1) 目的外に提供する必要性について

今回の照会の具体的な必要性について捜査機関である藤沢警察署に問い合わせたところ、今回の照会の基になった事案は、辻堂駅北口歩行者用デッキ上で被害者である40代の男性が自転車に乗ろうとしたところ、加害者である70～80代くらいの男性が意味不明な言葉を発しながら近づき、手に持っていた杖で被害者を殴打し、被害者がその後警察へ被害届を提出、殴打された箇所が打撲していたことから傷害罪として警察が捜査を開始したとのことである。警察のこれまでの捜査では、現場でトラブルが起きた時間帯に大きな声で口論しているところを見たという証言を、付近でティッシュ配りをしていた者から得ており、付近の防犯カメラの画像から犯人特定に繋がる手がかりを得たいために、画像提供を求めたとのことであった。

なお、事案発生時の現場、及び判明している被害者と加害者の移動経路の状況から本市の防犯カメラに加害者が映っている可能性が高く、付近の他の防犯カメラには映っていない可能性があることから、本件の照会の対象となっている画像データの提供は、他の手段では代替することが困難なものであるとしている。

以上のことから判断すると、目的外に提供する必要性があると認められる。

(2) 目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由について

個人情報を目的外に提供する場合、当該個人情報の帰属する本人にあらかじめその旨を通知する必要がある。しかし、本件の目的外提供は、捜査のた

めに行うものであり、今回照会対象となっている画像データに映っている個人が本事案に関与している可能性があるため、本人通知をした場合には、当該捜査の遂行に支障をきたすことを捜査機関に確認している。また、目的外に提供する個人情報、画像データであり、撮影区域には不特定多数の者が立ち入るため、当該画像データから個人を特定することができないため、本人に個別に通知することは困難である。

以上のことから判断すると、目的外に提供することに伴う本人通知を省略する合理的理由があると認められる。

以 上